

# Japan Geoscience Union Meeting 2011

(May 22-27 2011 at Makuhari, Chiba, Japan)

©2011. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.



MGI031-05

会場:201A

時間:5月25日 14:15-14:30

## 超高層大気長期変動の全球地上ネットワーク観測・研究(IUGONET)プロジェクトについて

### Inter-university Upper atmosphere Global Observation NETwork (IUGONET) project

堀 智昭<sup>1\*</sup>, 林 寛生<sup>2</sup>, 小山 幸伸<sup>3</sup>, 田中 良昌<sup>4</sup>, 鍵谷 将人<sup>5</sup>, 上野 悟<sup>6</sup>, 吉田 大紀<sup>3</sup>, 阿部 修司<sup>7</sup>, 河野 貴久<sup>1</sup>, 金田 直樹<sup>6</sup>, 新堀 淳樹<sup>2</sup>, 田所 裕康<sup>4</sup>

Tomoaki Hori<sup>1\*</sup>, Hiroo Hayashi<sup>2</sup>, Yukinobu Koyama<sup>3</sup>, Yoshimasa Tanaka<sup>4</sup>, Masato Kagitani<sup>5</sup>, Satoru UeNo<sup>6</sup>, Daiki Yoshida<sup>3</sup>, Shuji Abe<sup>7</sup>, Takahisa Kono<sup>1</sup>, Naoki Kaneda<sup>6</sup>, Atsuki Shinbori<sup>2</sup>, Hiroyasu Tadokoro<sup>4</sup>

<sup>1</sup> 名古屋大・STE 研, <sup>2</sup> 京都大・生存研, <sup>3</sup> 京都大・理・地磁気センター, <sup>4</sup> 極地研究所, <sup>5</sup> 東北大・理・地球物理, <sup>6</sup> 京都大・理・附属天文台, <sup>7</sup> 九州大・宙空センター

<sup>1</sup>STE lab., Nagoya Univ., <sup>2</sup>RISH, Kyoto Univ., <sup>3</sup>WDC for Geomag, Kyoto, Kyoto Univ., <sup>4</sup>NIPR, <sup>5</sup>Dep. Of Geophys., Tohoku Univ., <sup>6</sup>Kwasan and Hida Obs, Kyoto Univ., <sup>7</sup>SERC, Kyushu Univ.

超高層大気長期変動の全球地上ネットワーク観測・研究 (IUGONET) プロジェクト (2009-2014) では、国立極地研究所、東北大学、名古屋大学、京都大学、および九州大学が連携し、IGY 以来 50 年以上にわたって蓄積された地上観測データのメタデータ (観測期間、装置の種類、データの所在地、など観測データに関する情報) のデータベースを構築する。プロジェクト参加機関は、地球上のあらゆる地域で、対流圏から太陽圏に至る多様な高度領域から、レーダー、磁力計、光学装置、太陽望遠鏡などの各種装置を用いて観測データを収集している。この膨大なデータをメタデータ・データベースによって横断的に検索・取得できるようにすることで、観測データの流通を促進し、さらには異となる大気層にまたがるような現象の総合解析、新しい超高層大気研究が促進されることが期待される。現在、IUGONET プロジェクトは 3 年目に入り、(1) 各研究機関における観測データのメタ情報の抽出、(2) リポジトリソフト DSpace を用いたメタデータ・データベースのシステム構築、(3) TDAS (IDL で書かれた THEMIS 衛星データ解析ソフト) をベースにしたデータ解析ツールの開発を進めている。また今年度末の全体公開を見据え、メタデータ・データベース及び統合解析ツールについては、それぞれベータ版の公開を開始した。発表では、これまでのプロジェクト全体の進捗状況と今後の計画、スケジュールについて紹介する。

キーワード: 超高層大気, メタデータ, 大学間連携プロジェクト

Keywords: Upper Atmosphere, metadata, IUGONET